

できることから
はじめよう!
環境にいいこと
ひとつずつ



城陽エコパートナー通信 Vol.86

発行日:令和7年(2025年)7月25日 編集・発行:城陽環境パートナーシップ会議
会員数:270人(令和7年6月30日現在) (事務局)Tel(56)4061 Fax(56)3999

芦原さんのご冥福をお祈りして



この4月に運営委員の芦原昇さんが逝きされました。芦原さんは2003年の城陽環境パートナーシップ会議(当会議)発足時から運営委員として参画され、その後副会長も務めていただくなど今日まで当会議の発展に多大な貢献をしていただきました。ここに当会議を代表して深く感謝申し上げますとともに故人のご冥福をお祈り申し上げます。

芦原さん、あなたは住まいが隣町の宇治田原町にも関わらず城陽市民の暮らしに深く関わる城南衛生管理組合の一員であることから当会議に参画してくれました。発足当初は議論百出で会議の運営・持続には様々な壁が立ちはだかり、初代会長が大変ご苦労されたことを覚えています。地球温暖化防止や生物多様性保全など未だ誰

も経験のない環境活動の展開をあなたは適切にリードしてくれました。自分の住む町でも環境活動を主宰するかたわらで、私たちの定例会議には欠かさず参加して積極的に発言し提案してくれました。私たちの活動は市、市民、事業者、市民団体のパートナーシップによるものであること、持続可能なものでなければならないことを自らの行動で示してくれました。あなたは誰からも信頼され好かれる人柄で、私たちにはかけがえの無い存在でした。あなたと共に活動できたことを嬉しく心より感謝しております。ありがとうございました。

2025年7月
城陽環境パートナーシップ会議
会長 大野和宣

環境ミニフォーラムを開催しました!

文:事務局



6月28日(土)、福祉センターにて環境ミニフォーラムを開催しました。今回のミニフォーラムは、「侵略的外来生物・クビアカツヤカミキリについて」というテーマで、京都府自然環境保全課の河村勇輝氏に講演していただきました。

クビアカツヤカミキリは、もとは中国大陸や朝鮮半島に生息する外来種で、体長は2~4cm程度で、胸部が赤く、光沢のある黒い体の特徴の昆虫です。成虫は、モモやサクラ、ウ

メの樹木に産卵します。幼虫は樹木の中で2年かけて成長しますが、その間、樹木を食い荒らし樹木を枯死させてしまいます。また、非常に繁殖力が強く、国内でも分布が拡大しており、農業や観光業などに非常に大きな被害を出すおそれがあり、対策が急務となっています。

幼虫は樹木の中に潜伏していますが、大量のフラス(フンと木くずが混じったもの)が樹木の周りに発生するので、定期的に樹木を確認することが必要です。

講演では、成虫やフラスの見分け方について、クイズを交えて解説されたほか、予防や駆除について説明されました。また、成虫とフラスの標本を持参され、参加者は講演後、注意深く実物を確認していました。

クビアカツヤカミキリを見つけたら京都府に通報
京都府自然環境保全課 ☎ 075-414-4706



令和7年度(2025年度)総会を開催しました!

6月28日(土)13時より、福祉センターにて令和7年度(2025年度)総会を開催しました。出席者は事務局を含め23名でした。開会冒頭に、これまで副会長として当会議の中心的役割を担ってこられ、地域の環境保全活動に多大な貢献をいただいた故芦原昇様の冥福を祈り、黙とうを捧げました。

総会では、令和6年度(2024年度)事業報告及び収支決算、令和7年度(2025年度)事業計画(案)及び収支予算(案)が上程され、原案どおり承認されました。

また、今年度は役員改選年度であり、役員選出の議案が上程されました。会長及び監事については、大野会長、竹内監事の再任が決まりました。

次に、大野会長から、副会長に浅田委員、18名の運営委員が指名され、承認されました。

これを以て、総会を終了しました。

また、総会開催前には運営委員で会場周辺のクリーン活動を実施しました。



※当日の参加者の記念写真

◇令和6年度(2024年度)収支決算

令和6年(2024年)4月1日~令和7年(2025年)3月31日

1. 総括表

(単位:円)

項目	決算額	備考
総収入	996,918	
総支出	739,860	
収支差額	257,058	令和7年度(2025年度)へ繰越

2. 収入

(単位:円)

項目	予算額①	決算額②	差額②-①	備考
(1)会費	280,000	280,000	0	賛助会費 14会員×@20,000=280,000円
(2)募金・寄付	4,800	16,509	11,709	パートナーシップ募金6,509円+寄付10,000円 =16,509円
(3)参加費収入	5,000	3,000	△2,000	こどもエコバスツアー参加費500円×6名=3,000円
(4)補助金	300,000	300,000	0	城陽市活動支援補助金 300,000円
(5)雑収入	5	16,807	16,802	普通預金利息257円 城陽産菜種油+環境フォーラム喫茶売上代16,550円
(6)前年度繰越金	380,602	380,602	0	
合計	970,407	996,918	26,511	

3. 支出

(単位:円)

項目	予算額①	決算額②	差額①-②	備考
(1)事業費	797,562	619,776	177,786	ゴーヤ苗の育成に関する消耗品、花いっぱい運動に関する用具代・苗・菜種代、畑の肥料代、温室内消耗品・備品・修繕費用、自然観察会講師謝礼、『もったいない〜「食品ロス」と「節電」〜』作製費、生きものガイドブック各種作製費、グリーンカーテンフォトコンテスト写真用紙・賞品代、カーボンニュートラル絵画展賞品・展示消耗品代、自然学習会キット(フレーム・ノリ他)代など
(2)広報費	87,944	66,279	21,665	会員通信郵送料
(3)調査研究費	3,000	0	3,000	支出なし
(4)事務費	71,000	53,805	17,195	切手代、会費振込手数料、その他振込手数料、クラフト封筒(長4)代、事務消耗品費、プリンターインク代等
(5)予備費	10,901	0	10,901	
合計	970,407	739,860	230,547	

◇令和7年度(2025年度)事業計画

●パートナーシップ

- ・総会の開催
- ・城陽市環境フォーラム及び環境ミニフォーラムの開催
- ・第2次環境基本計画の取り組み
- ・会報（エコパートナー通信）の発行／年4回



●生活

- ・身近な河川の清掃活動の実施
- ・グリーンカーテンの普及・啓発
- ・花いっぱい運動の実施



●地球環境

- ・「Joyo Eco Choice!」
- ・「デイリーエコチョイスJOYO」等の活用
- ・カーボンニュートラル絵画展の開催
- ・環境学習会のシナリオの改訂

●自然

- ・身近な河川と里山で見られる動植物の観察会の開催(年3回)
- ・生き物検索表クリアファイルの作製
- ・自然学習会の開催
- ・はたけひろばの開催(月2回)
- ・竹林の整備(竹炭づくり)(月2回)
- ・どんぐりやまプロジェクトの実施

●循環

- ・3R活動の推進
- ・『もったいない～「食品ロス」と「節電」～』の活用
- ・環境学習会の開催
- ・マイボトル推進
- ・城陽市フードドライブ事業協力
- ・環境美化の推進



○運営委員会の開催 毎月第1木曜日 ○部会の開催 毎月第3木曜日

◇令和7年度(2025年度)収支予算

令和7年(2025年)4月1日～令和8年(2026年)3月31日

1. 総括表

(単位：円)

項目	予算額	備考
総収入	855,000	
総支出	855,000	
収支差額	0	

2. 収入

(単位：円)

項目	予算額①	前年度予算額②	対前年度比較 ①-②	備考
(1)会費	280,000	280,000	0	賛助会費 14会員×@20,000=280,000円
(2)募金・寄付	17,000	4,800	12,200	パートナーシップ募金、寄付
(3)参加費収入	0	5,000	△ 5,000	
(4)補助金	300,000	300,000	0	城陽市活動支援補助金 300,000円
(5)雑収入	1,000	5	995	普通預金利息
(6)前年度繰越金	257,000	380,602	△ 123,602	前年度繰越額 257,058円
合計	855,000	970,407	△ 115,407	

3. 支出

(単位：円)

項目	予算額①	前年度予算額②	対前年度比較 ①-②	備考
(1)事業費	634,000	797,562	△ 163,562	総会開催 環境フォーラム 生活・自然部会事業 循環・地球環境部会事業 その他イベント等
(2)広報費	73,000	87,944	△ 14,944	会員通信郵送料
(3)調査研究費	3,000	3,000	0	参考資料、書籍等購入代
(4)事務費	65,000	71,000	△ 6,000	切手代、会費振込手数料、その他振込手数料、慶弔費、事務消耗品、封筒代等
(5)予備費	80,000	10,901	69,099	
合計	855,000	970,407	△ 115,407	

7月5日(土)、今年も夏期恒例・今池川で水辺の生き物たちの採集を楽しむ観察会を開催しました。この暑さに開催時期の見直しも検討しましたが、継続記録の重要性から今年も7月の初旬となりました。子どもたちが安心して遊べる自然の水辺環境が皆無に等しい現在、今池川上流部ではもう20年も前から小学校の野外実習授業や自然観察会をおこなっており、貴重な生き物たちの記録も数多く残されています。

そんな記録の中でも、2015年の観察会で発見された京都府の希少野生生物に指定されている絶滅寸前種「ダルマガエル」は特筆ものです。かつては漁具のモンドリにたくさんのカメが入り、「スッポン」に「ウンキュウ」と呼ぶイシガメとクサガメの雑種の記録もあります。また、水棲昆虫の「コオイムシ」の他「ミズカマキリ」「タイコウチ」の記録もあり、水質や水辺環境の指標となる生き物たちの生息状況の継続的な観察記録は大変価値のあるものです。何より、子どもたちが自分で捕えた

メダカやドジョウは一生の思い出となり、ザリガニの他にスズエビやヌマエビもいることを知ってさらなる興味を抱いてくれたことでしょう。こうした観察会で記録された淡水魚の種類や個体数も、近年の河川改修による影響で減少傾向にあるのが残念ですが、淡水魚の専門家の先生方を講師陣に招いてそれぞれの解説やエピソードを現地において聞く機会を絶やすことのないようにしたいものです。



観察会講師 林博之氏・竹野功聖氏・野村隆俊氏 参加者21名
今回観察した生き物はクサガメ、アメリカザリガニ、タナゴ等 19種類

会員の皆さまへ！

エコパートナー通信(本通信)を 電子版にしませんか？

城陽環境パートナーシップ会議が、年4回お届けしているこの「城陽エコパートナー通信」ですが、**ペーパーレス化によるCO₂削減**の観点から、電子送付へのご協力をお願いしております！

●会員通信の電子送付の申し込み方法について

右の二次元コードを読み取り、専用フォームから必要事項を入力し、送信ボタンを押してください。



※ご入力いただいた情報は本人確認および会員通信送付のためにのみ使用します。

現在、会員数**270名**のうち、**76名**が電子送付にご賛同いただいています！



電子送付にご協力の方には、
毎号**エコ・アクション・ポイント**
を進呈します！

エコ・アクション・ポイントとは？



環境省が推進する全国共通のポイントプログラムです。対象のエコアクション(環境にやさしい行動、サービスの利用等)を行うとアプリ上でポイントが付与され、貯めたポイントは各種ギフトカードや商品と交換することができます。

城陽市では、令和5年8月からエコ・アクション・ポイント事業を開始しています。



市ホームページ



アプリのダウンロードは以下から
シロクマのマークのアプリです！



App Store
からダウンロード
iPhone など



Google Play
で手に入れよう
Android

アプリをお持ちでない場合公式サイトからも会員登録ができます。
ホームページ▶ <https://www.eco-action.jp>

※アプリや登録方法に関するお問い合わせは、エコ・アクション・ポイント事務局まで
(☎0120-889-614 10:00-17:00/土・日・祝・年末年始休)

株式会社 城南工建

〒610-0113 京都府城陽市中芦原27番地の1
TEL 0774-53-3939 FAX 0774-55-1172

東城陽ゴルフ倶楽部

京都府城陽市寺田奥山1-48
TEL 0774-52-1161

株式会社 ミズホ

マサツのない世の中へ。
砥石で、未来を磨いてゆく。

京都城陽ロータリークラブ、近畿砂利協同組合、サントリープロダクツ(株)宇治川工場、城陽金融会、
城陽市、城陽商工会議所、星和電機(株)、(株)玉井開発、日本観光ゴルフ(株)城陽カントリー倶楽部、
(株)平和堂アル・プラザ城陽、森澤博光 ※令和7年6月30日現在(五十音順・敬称略)

上記の団体・個人の方から賛助会費をいただきました。誠にありがとうございました。